

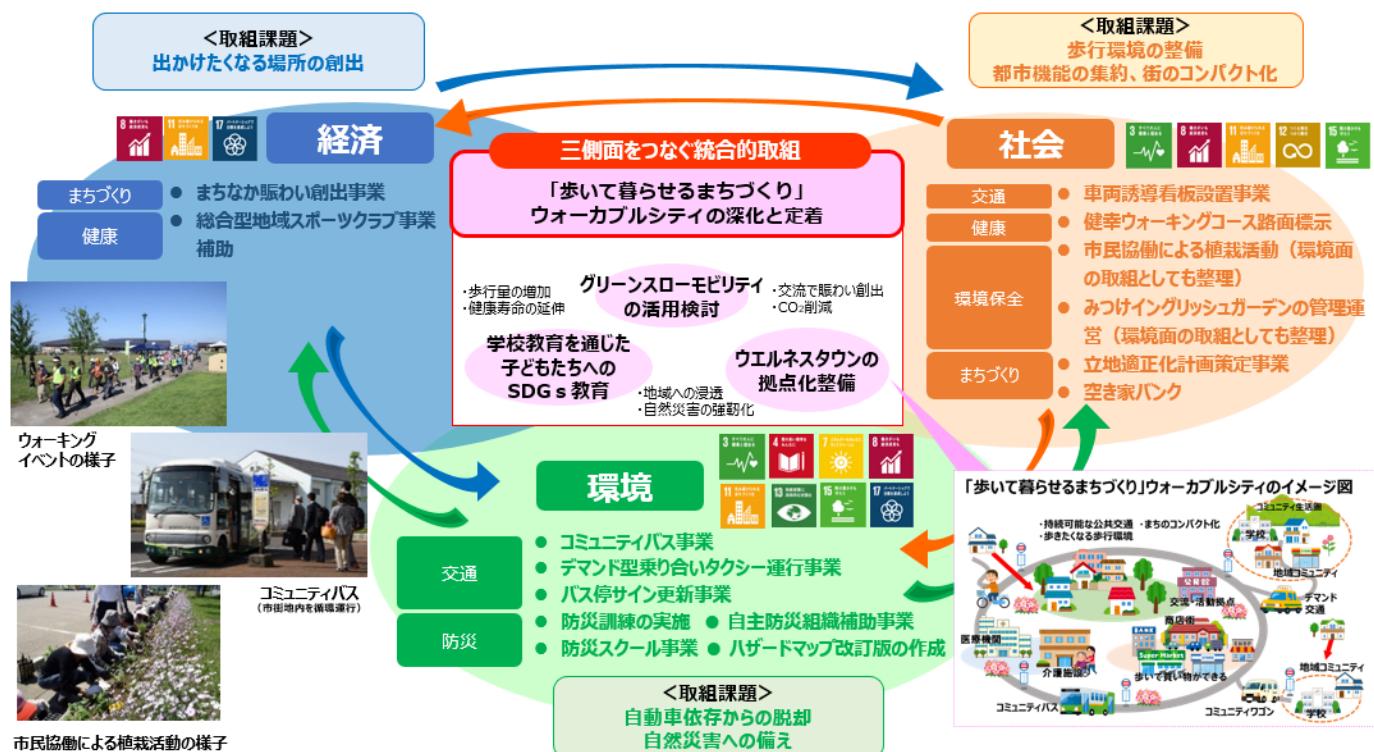
見附市第2期SDGs未来都市計画（R4～R7の4か年計画）

～「歩いて暮らせるまちづくり」ウォーカブルシティの深化と定着～

資料5

1.目標及び課題	目標である「住んでいるだけで健康で幸せになれる健幸都市」の実現にあたっては、①日常生活で必要な運動量が確保される「歩いて暮らせるまちづくり」の推進、②社会参加を通じた交流の喜びや生きがいの享受がポイントであり、公共交通の整備や誰もが社会参加しやすい場所、環境を整えることで誘導を図り、市民の行動変容に繋げていく。	2.関連するゴール	
3.取組の概要	「歩いて暮らせるまちづくり」の推進により、歩くことで健康増進を図るとともに、まちなかに歩行者を増やし、人と人が触れ合え交流でき、賑わいのある中心市街地として都市機能を集約し、将来に渡り持続できる都市形成を図る。ポイントとしては、①外出しやすくする仕掛け、②賑わいを創出する仕掛け、③市民の行動変容を誘導する仕掛けの3つの視点を持って、総合的に施策を展開する。		

■これまでのSWC施策をSDGs的に整理して、SDGs未来都市計画を構築 →見附市のSDGsは、これまでの健幸まちづくりの延長線上にある取り組み



●KPIの進捗状況

	KPI	R4	R5	R6	目標(R7)	達成状況
1	コミュニティバス利用者数	170,454人	191,850人	189,855人	217,000人	□維持
2	創業・起業の件数（累計）	12件	24件	26件	30件	↗上昇
3	中心市街地での出店数（累計）	15件	18件	19件	16件	↗上昇
4	介護認定率の伸び率の抑制	17.7%	18.1%	17.9%	18.8%以下	□維持
5	主要企業の地元就労率	43.0%	41.2%	43.2%	50.0%	↗上昇
6	見附市外から転入した人数（9～10月）	838人	923人	837人	1,000人（年）	↘下降
7	20代30代の社会動態（9～10月）	△131人	△58人	△127人	△30人（年）	↘下降

令和6年度の取り組み

①見附駅交流拠点『MITSUKERU』整備

- <外出しやすくなる仕掛け><賑わいを創出する仕掛け>
- ・見附駅周辺活性化のための交流施設（R6.5月～）
- ・JR見附駅、コミュニティバスとの交通結節点としての魅力向上
- ・令和6年は約58,000人が利用



MITSUKERU（外観）

②夜間オンデマンドタクシー 乗合タクシー『ナイトコミタク2』

- <賑わいを創出する仕掛け>
- ・夜間の移動手段の確保、地域経済の活性化を目的にジャンボタクシーによる夜間運行の社会実験を運行
- ・実施期間：令和6年10月～令和7年2月（金、土曜日）
- ・利用人数131人

③SDGs啓発活動

- <市民の行動変容を誘導>
- ・健幸フェスタ、エコアクションみつけなどの開催を通じてスマートウエルネス、環境問題への啓発を実施



ナイトコミタク2



健幸フェスタ



MITSUKERU（内部）

他地域への展開

- ・SDGs、SWC関連の視察受入件数 24件 100名

令和7年度の取り組み

①コミュニティバス購入費補助

- ・バス事業者の車両購入費の一部を支援し、老朽化したコミュニティバスの車両の入替を実施
※新車両の運行は令和8年度予定

②子育て応援カードデジタル化

- ・18歳未満のこどもを養育する保護者に子育て応援カードを交付。協賛店からの割引や特典の提供、コミュニティバスの運賃半額などのサービスで経済的負担を減らす取組
- ・従来はカードを配布していたが、見附市公式LINEによる提示を行い、デジタル化に移行

③SDGsの啓発活動

- ・健幸フェスタ、エコアクションみつけの開催

他地域への展開

- ・SDGs、SWC関連視察対応

令和8年度（2025年度）以降のSDGs未来都市計画について

第6次見附市総合計画前期基本計画（素案）P4「2計画の位置づけ」

総合計画へ包含し、SDGs目標年である令和12年（2030年）まで進捗管理を行う
まちづくり総合会議で進捗状況を報告予定